

おもてなしの心が息づく 河岸のまちのひなまつり

大石田
4月1日～3日
ひなまつり

4月1日から3日までの3日間大石田ひなまつりが開催されました。例年4月2日、3日に行われるひなまつりですが、今年は土曜日に合わせて1日からの開催となり、3日間で約2,000名の人出となり、メイン会場となった本町通りは訪れた多くの方々でにぎわっていました。

優雅なおひなさまと 温かいおもてなし

大石田ひなまつりは各家庭に飾られたお雛様を見てまわる「おひなみ」という形式のひなまつり。最上川舟運によってもたらされ、それぞれの家庭で大切に守り継がれてきたおひなさまが女性たちの手によってかわいらしく飾られます。訪れた方は、漬け物やくじら餅などでもてなしを受けながら、じっくりとながめていました。



1 / 外国風の人形も並ぶ常盤家の雛飾り。
2 / 草刈家の雛飾りは押し雛やつるし雛など天井に届くほどの高さに。3 / 榎本家の雛飾り。蔵座敷に飾られた優雅な雛をながめます。4 / 高桑家の雛飾りは家の奥まで続く独特の土間「ろうず」から。5 / おいしい物産展「にぎりばっと」などさまざまな特産品が並びました。6 / 北村山高茶華道部による本格的な抹茶席。7 / 歴史民俗資料館にもさまざまな時代のおひなさまが並びました。8 / 食生活改善推進員の軽食コーナー。春の風に漂う香ばしい焼きおにぎりの香りが食欲をそそります。9 / 佐藤家の蔵座敷で開かれた「蔵」コンサート10 / 庄司家の雛飾り。自慢の漬け物を味わいながら。11 / 戸田家の雛飾り。ひな段にはケーキなども。



ひなまつり彩る さまざまなイベント

佐藤家の蔵座敷で「ひなまつり「蔵」コンサート」が開かれ、声楽家の佐藤登さんが歌声を披露したほか、渡辺家では琵琶奏者高橋旭盛さんによる筑前琵琶の演奏会や和琴サークルによる演奏会が催され、蔵座敷に優雅な音の調べが響いていました。

また、みぞれまじりの肌寒い天候となった2日には、本町通りでは鷹巣雪国太鼓による和太鼓の演奏や、木村里美さんによる「ひなまつり民謡ショー」、最上川芭蕉

蓮の阿波踊りの披露が行われ、多くの方が足を止めて拍手を送っていました。

歴史民俗資料館の「聴齋書屋」では香道体験も催されました。「香道」とは伽羅(きゃら)や羅国(らこく)などの香木をたいて、その香りを鑑賞する芸道のこと。香道では、香木の香りをかぐことを「聞く」といいます。体験会に参加した方は、優雅な香りを鑑賞しながら、感性を研ぎ澄ませて数種類の香りを「聞き当り」していました。

おいしい物産展

1日と2日はメイン会場の本町通りを通行止めとし、「おいしい物産展」も開催されました。物産展には食生活改善推進員による軽食コーナーや、春を告げる魚「かど」焼き、にぎりばっとやそばなど町内の名物が並び、会場はおいしい香りに誘われた多くの方でにぎわいました。訪れた方はおいしいものを食べながら、目と舌でひなまつりを存分に楽しんでいました。

